令和3年度5月11日 市長記者会見 発言要旨

＜ 開催時間 ＞　　14:00～

＜ 会 場 ＞　　庁議室（ 市役所本館3階 ）

＜ 会見案件 ＞　　①新型コロナウイルスワクチン接種について
②「第 34 回 市美展ふくい」の開催について
③「オリンピック聖火リレー」および「ハピリン 5 周年」について
④イメージロゴ「福いいネ!」や「福いいネ!くん」の活用による効果的な魅力発信について

＜ 出 席 者 ＞　　東村市長、西行副市長、総務部長、
職員課長、職員課副課長、市民サービス推進課長、環境政策課長
広報課長、広報課副課長、秘書課長

＜ 出席報道機関 ＞　　NHK（藤田）、共同通信（伊藤）、時事通信（杉本）、県民福井（北原）、日経新聞（鈴木）、
福井新聞（児島・菅野）、毎日新聞（横見）、朝日新聞（八百板）、福井テレビ（青木）、
読売新聞（西平） ＜以上10社＞
※ 欠席

＜ 発 表 内 容 ＞

広報課長： 定刻となりましたので、これより市長記者会見を行います。市長、よろしくお願いします。

福井市長： 記者会見に先立ちまして、現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため福井県緊急事態宣言が発出されており、ゴールデンウィーク中、感染者数は若干減少してきたものの、決して油断はできない状況です。一人一人が引き続き、基本的な感染予防に心掛けていただきたいと思います。

まず、新型コロナウイルスワクチン接種について、ご報告申し上げます。
本市における新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、４月１２日の新田塚ハウスでのモデル接種を皮切りに、まずは高齢者施設での接種を開始しました。新田塚ハウスでは、１回目の接種が４月 12 日と 19 日に、２回目が５月６日と１０日に行われ、入所者と介護従事者のあわせて３１０人の方が接種を受けられたところです。
その後、４月 26 日の週には７つの高齢者施設で 690 人の方が接種を受けられました。引き続き接種実施医療機関との調整を行うなど、準備が整った施設から順次進めてまいります。
また、一般高齢者の方につきましては、４月２０日から段階的に接種クーポン券の発送を行っており、本日の発送分を持ちまして、65 歳以上の方への接種クーポン券の発送が完了いたします。
さらに、４月２１日からは、接種予約の受付を開始しています。
接種の予約にはコールセンターへの電話、窓口、そして Web での予約と、３ つの方法がありま

す。
現在、電話や窓口が混み合っており、市民の皆様にはご迷惑をお掛けしておりますが、ワクチンは希望するすべての方が接種できますので、安心してお待ちいただきたいと思います。
なお、ホームページなどで、Web による予約方法を説明していますので、それらを参考にしながら、Web での予約をお勧めしております。
次に、一般高齢者の方への接種についてですが、県内のトップを切って今月８日に市防災センターで集団接種を開始し、当日は 60 人の方が接種を受けられました。
また、９日には市体育館サブアリーナで、120 人の方が接種を受けられたところです。
それぞれの集団接種会場において、目立った副反応もなく、円滑に接種を進めることができ、順調なスタートが切れたと考えています。
なお、防災センターでの接種を予約された方のために、JR 福井駅東口から防災センターへのシャトルバスを運行していますので、そちらもご利用いただきたいと思います。
そして、本日からは市内医療機関での個別接種も始まり、89 の医療機関で接種が行われています。
今後は、ワクチンの供給量に合わせ、接種ができる医療機関や予約枠を順次拡大してまいります。
また、身近なところに接種可能な医療機関がない地域においては、その地域にお住まいの方が接種しやすい体制を整えています。
まず、越前海岸方面の棗、鷹巣、国見、一光、越廼の５地区については、隣接する地区に接種を行う医療機関がないことから、福井総合病院の協力のもと、地区ごとに指定日を設けた上でバスによる送迎を行い、接種を実施します。
また、殿下地区については、つながるクリニックと福井厚生病院の協力のもと、殿下小中学校体育館において接種をおこないます。
その他、美山地区の芦見地区、上味見地区、下味見地区では、それぞれの地区の公民館分館を活用し、ＪＡ福井県厚生連の協力のもと接種を行います。
このように、本市では、新型コロナワクチンの接種を希望される方の接種機会を確保し、確実に接種できるよう取り組みを進めているところです。
また、高齢者以外の１６歳以上の方の接種については、ワクチンが９月末までに確保できるとの一部報道もありますが、確実なスケジュールが示され、状況が整い次第、開始時期や接種体制などの情報をお伝えしてまいります。
繰り返しになりますが、ワクチンは順次供給してまいりますので、ご安心いただきたいと思います。

次に、「市美展ふくい」について、です。
昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止といたしましたが、今年度は、新型コロナウイルスの感染防止対策を万全に講じたうえで、５月 22 日から５月 30 日の日程で、第３４回「市美展ふくい」を開催いたします。
「市美展ふくい」は、これまで本市の美術文化の向上を目指し、市民に親しまれる美術の祭典として多くの皆様にご参加・ご協力をいただいてまいりました。日々の生活から生まれた素晴らしい作品との出会いを待ちわび、鑑賞を楽しみにされている方も多くおられます。
今回、新しい試みとして、７部門の上位４賞（市長賞、市議会議長賞、市教育委員会賞、市文化

協会会長賞）の作品を本市のホームページで紹介いたします。これは、より多くの方に作品鑑賞の機会を提供するとともに、本物の作品をじかに観に来ていただけるよう促すために行うものです。
コロナ禍で外出などが制限される中、少しでも心豊かな時間を過ごしていただくため、第３４回「市美展ふくい」を開催いたしますので、より多くの方にご来場いただきますようお願いいたします。ただし、今後の新型コロナウイルス感染状況により開催を中止する場合もございますので、ご了承いただきたいと思います。
また、秋にはウェブ上で作品の出品や鑑賞ができるバーチャル文化芸術祭も開催予定です。夏頃から作品募集を始める予定ですが、このような機会を捉え、文化芸術を楽しんでいただきたいと思っています。

次に、「オリンピック聖火リレー」について、ご説明申し上げます。
本市での聖火リレーは、５月 30 日の日曜日、午後６時 48 分に福井県庁をスタートします。その後、県庁線、お泉水通り、松本通り、フェニックス通りを走る約 2.8 キロのコースで、午後７時 23 分に福井市中央公園でゴールする予定です。
本市では、15 人のランナーがリレーを行います。「福井市観光大使」をお願いしている「津田寛治」さんも、福井県 PR ランナーとして参加の予定です。
本来なら、多くの方に沿道にお越しいただき、熱い声援で盛り上げていただきたいところですが、観覧の際は、係員の指示に従い、密集を避けて、マスクを着用し、拍手による応援をお願いいたします。
なお、聖火リレーの走行の模様は、インターネットのライブ中継で視聴することができますので、沿道の密集を避けるため、インターネットのライブ中継をご覧いただきますようお願いいたします。
また、ルート周辺にお住まいの方や付近を通行される方には、交通規制に伴いご迷惑をおかけしますが、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

次に、先日行われました「ハピリン５周年」について、ご報告いたします。
ハピリンは、平成 28 年４月に開業し、先月、５周年の節目を迎えました。
そこで、福井市と商業施設が連携し、４月１１日から５月５日まで、全館あげて「ハピリン５周年祭」を開催いたしました。
期間中、４月 17 日、１８日には、５周年を記念するセレモニーと、メインイベントのバーチャル対戦型 AR スポーツイベント「ハドー」を始めとする様々な催しを実施し、多くの家族連れや若者どおしのグループ等にご参加いただきました。また、ハピテラスの様子をセーレンプラネットで同時中継するなど、新しい試みも行ったところです。
５月５日までのイベントの期間中には、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う「福井県緊急事態宣言」も出され、食のイベントの中止などもありましたが、今後とも、コロナの感染症防止対策に留意しながら、市民の皆様に親しんでいただけるよう、にぎわいの拠点としての役割を果たしていきたいと思います。

最後に、イメージロゴ「福いいネ！」や「福いいネ！くん」の活用による効果的な魅力発信について、です。
北陸新幹線福井開業に向けた取組として、まずは、インパクトのあるイメージロゴを活用することが効果的であると考え、昨年７月にイメージロゴ「福いいネ！」を制作しました。
「福いいネ！」は、本市プロモーションの旗印として活用し、ロゴと福井の魅力を掛け合わせた情報発信を行うことで、本市の認知度向上とイメージアップに繋げていきたいと考えております。
そのため、市民の皆様にまずはロゴを知っていただき、愛着をもって活用していただけるよう、市政広報やイベントでのＰＲ、シールチラシの配布に加え、横断幕やのぼり、ポスターなどの掲示、ＰＲ動画の放映など、目に触れる機会が増えるよう取り組んでいるところです。
また、市内の企業や団体に対しても積極的にロゴの活用や、商品化をお願いしており、ロゴを取り入れたトートバックや布マスク等の一般販売のほか、工事現場などのバリケードのデザインにロゴが使われたり、テアトルサンクが入るビルの壁面に巨大なロゴ看板が掲げられるなど、ロゴ活用の広がりが見え始めてきました。
さらに今回、ラニイ福井貨物株式会社さんが自社の大型トラック５台にイメージロゴをラッピングし、県内外での PR を図ってくださることになり、こちらは５月１８日に本社でのお披露目会を予定しております。また、その他の交通事業者等ともロゴ活用の協議を進めているところです。
また、職員自らが広告塔となるために、クールビズ期間中での職務中に着用できる「福いいネ！ポロシャツ」を作成中で、５月下旬ごろに完成する予定です。
今後も、様々な機会を捉えて、このイメージロゴ「福いいネ！」を中心に本市の認知度向上、イメージアップを図ってまいりますので、市民や事業者の皆様も、このイメージロゴの積極的な活用をお願いいたします。報道機関の皆様も、周知並びに活用へのご協力をお願いいたします。
最後に、このイメージロゴ「福いいネ！」から生まれた「福いいネ！くん」を改めて皆さんにご紹介したいと思います。

真っ白なボディーで親指部分には「福」が描かれています。好物は大福餅とのことで、これまでふくい桜まつりやハピリン５周年イベントなどで積極的にＰＲを行ってくれているところです。
今後のさらなる活躍を期待し、ここで正式に本市新幹線プロモーション課の職員として辞令を交付したいと思います。

◆辞令交付式◆
市長：「特命、福いいネ！くん　　総務部　未来づくり推進局　新幹線プロモーション課
プロモーション特命係長　を命ずる。
本市のプロモーション推進に尽力し、福井市の魅力をＰＲすること。
令和３年５月１１日　　福井市長　東村　新一」

広報課長：福いいネ！クンは他の公務がありますので、これにて退席でございます。
福井市長：私からは、以上です。

＜ 質 疑 応 答 ＞

広報課長：それでは、質疑応答を行います。質問の際は、挙手のうえ、社名とお名前の後に発言をお願いします。

県民福井：県民福井の北原です。新型コロナワクチンの接種について、国は7月末までに高齢者接種を終えて欲しいとしているが、福井市では可能なのか。また、7月末までの接種の予約受付が5月7日から始まったが、7月末までの予約枠は高齢者の接種に対して満たされているのか。

福井市長：まず、7月末までに全ての高齢者が2回の接種を終えられるかという話だが、現段階ではそこまでやれるという体制作りには至っていない。ただ、検討は進めている。また、7月末までの高齢者の予約枠についてだが、現在実施している集団接種と医療機関での個別接種をもう少し増やしていかないと難しいと思う。

県民福井：もう少し増やしていかないというのは、医療機関の数なのか、集団接種の会場なのか。

福井市長：どちらでもいいが、とにかく接種できる体制を増やさなければならない。ただ、今から医療機関の数を増やすのはなかなか難しいので、集団接種を増やすことを考えなければいけないのではないか。

県民福井：土日に行っている集団接種を平日にも実施するとか。

福井市長：会場の数を増やすことなどを中心に今検討しているところである。

県民福井：いつ頃までに検討するのか。

福井市長：会場の確保や医療従事者の協力が得られるかどうかの問題があるため、それらを考えながら判断していきたいと思う。

県民福井：それらを進めることで、7月末までに希望者全員の接種を終わらせたいという考えはあるのか。

福井市長：希望者がどのくらいいるのかなどの課題もあり、整理していく必要がある。福井市だけが取り残されることのないように、出来れば先頭を切ってやれるように検討を進めている。

福井新聞：福井新聞の児島です。先日からワクチン接種の予約について、電話が繋がらないとか、窓口が非常に混雑している状況についてどう考えているのか。

福井市長：全国的にみても、電話が繋がりにくいということで、窓口に来てしまうという状況である。現在、市役所の前のビルで受付を行っているが、そこに入りきらないため、市民ホールや別館5階の大講堂を開放している。窓口に来たすべての方に対応できるよう、スマートフォンをお持ちの方には、その場で登録できるように職員を配置しているが、長時間お待ちになられた高齢者の方には大変申し訳なく思っている。今日、65歳以上の方への最後の接種クーポン券を送付しましたので、しばらくは窓口に来られる方が多くなるだろうと思う。今まで、電話回線を増やすことなども検討してきたが、全国的に電話回線がつながらない状態が続いており、一時回線を制限するようなことも言われている状況であることを理解いただいて、少しお待ちいただきたいと思う。

福井新聞（児島）：ワクチンに関しての追加で、先日はネット予約を中心にシステム障害ですべての受付が一時停止となった。今後、一般予約や65から69歳の方の予約が始まり、インターネットに明るい方が増えることで、同様のトラブルが予想されるが、先日の原因と講じている対策などあるか。

福井市長：まだ、原因はわかっていない。全国一斉にワクチンの受付が始まり、システム障害を招いたことについては市民皆様に大変ご迷惑をおかけしたと思っている。ただし、対策としては難しいところがあるので、現体制で行っていくしかないと思っている。

日経新聞：日経新聞、鈴木です。ワクチン予約の状況について、ワクチンのチケットを配った人のどれくらいの割合の人が予約をしているか。

ワクチン接種推進課長：5月7日までに70歳以上の方に約5万8，000通のワクチン接種券を送付し、現在 2 回目の接種

の予約を完了している方は3万人になりますので約52%の方が予約を完了している。

日経新聞：予約の枠の確保は十分だったと評価していますか？

福井市長：数字の出し方が難しいところがあるが、できていると評価している。

日経新聞：ワクチン接種と平行して感染症対策、また経済対策もしていかなければと思うが、現在の状況を聞かせてほしい。

福井市長：新型コロナウイルス感染者数が減少していない中で、現在経済対策が打てない現状である。まず、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐことが重要であり、ワクチン接種も平行して行い、患者の数を安定（ゼロ）させていくことが必要だと思っています。

日経新聞：県独自の緊急事態宣言が出されていますが、その中で4人以下での会食やイベントの開催などはっきりとした自粛の要請はなかったが、市としての考えとしてはいかがか？

福井市長：県と同じように注意喚起をしてきた。ただ、毎日県からコロナ感染者の報告があるので、お互いに気を引き締めてやっていかなければならないと思っている。

日経新聞：会食やイベントを自粛した方がよいと思っているか？

福井市長：会食やイベントがきっかけでクラスター的なものが発生している現実があるので、クラスターが発生しないように手を打つ必要があるだろうと思っている。

毎日新聞：毎日新聞の横見です。オリンピックの聖火リレーについて、現時点では係員を置いて、密集にならないように市民に周知しているところだと思うが、例えば聖火リレーの場所を人が入らないところに変更するなどの要望をする予定はあるか？

福井市長：開催される 5 月 30 日まで期間があるため、感染状況を注視していく必要があるが、現段階では県に対してそのような要望はしていない。これから感染者が多い都道府県で聖火リレーが行われ、走り方を変えることを検討している県もあるとも聞いている。今後の感染状況をみて、県と相談しながら考え方を整理する必要がある。

福井テレビ：福井テレビの山田です。高齢者のワクチン接種がすべて終わるのはいつになる見込みか。

福井市長：7 月いっぱいに終わるように検討しているが、今の調子でワクチン接種が進むと、8 月くらいまでかかることになるのではないかと思っている。

福井テレビ：さらなるスムーズなワクチン接種に向けて、県との連携について何か秘策等はあるか。

福井市長：秘策があるわけではないが、県は感染拡大の防止を中心に行っており、そのうえで医療従事者等へのワクチン接種を行っている。市は一般住民へのワクチン接種を行っており、県との連携は常に行っている。

福井放送：福井放送の酒井です。初回の集団接種を土日に終えたが、ワクチンが余ったとの報告はあるか。

福井市長：余っていない。今後、より多くのワクチンが市へ入ってくると余ることも懸念されるため、その場合の対応もしっかり考えていく必要がある。

福井放送：具体的に対応策はあるか。

福井市長：これまでの経過や課題、問題点を整理し、それに対する対応策を考えることに尽きる。

時事通信：時事通信社の山口です。聖火リレーについて、福岡県や松山市など、街頭での聖火リレーを中止しているところもあるが、福井市も中止をする可能性はあるか。

福井市長：現段階では感染者の拡大状況が比較的多い方ではないため、開催する方向で考えている。ただ、今後感染が急拡大した場合は、中止も考えなければいけないため、先進事例等も参考にしながら検討していく。

時事通信：他自治体が続々と聖火リレーを中止した場合、開催の判断が変わってくるか。

福井市長：全国でも一桁の感染者数である地域は 5 県か 6 県で、福井県もその中に入っている。感染者が増えている地域と福井市では感染状況が一緒ではないため、その点を踏まえたうえでよく検討していかなければならない。

福井新聞：福井新聞の武井です。高齢者のワクチン接種を７月いっぱいで行いたいと考えているか。

福井市長：7 月いっぱいで高齢者の接種を終えるという目標が国から示されている中で、福井市だけできなかったとならないようにと考えているが、制約となる部分もあるため、そこをクリアしないと難しいと考えている。

福井新聞：制約とは具体的にはどのようなことがあるか。

福井市長：新しいワクチン接種会場を確保することや、医療従事者の確保をすることなどが制約である。

福井新聞：今の予約枠のままだと８月までかかってしまうかもしれないということか。

福井市長：予約枠というよりも今の状況（会場数や医療従事者の方の人数）のまま続けていくとなると８月までかかってしまうだろうと考えている。

福井新聞：そのあたり、市医師会との人数確保に向けた協議を今後どのような予定で行うのか。

福井市長：それは、福井市の課題を示して、高齢者のワクチン接種を７月末までに終わらせるためには、医師や保健師、看護師など医療従事者の確保をどのような形でしていくかというお話をしっかりしていかなければならない。

福井新聞：いつまでにその話を提示する予定か。

福井市長：いつまでにというよりも、今の福井市の課題を解決できるかどうかについて、しっかりと考えなければいけない。

福井新聞：ありがとうございます。

日経新聞：今の質問に関連して確認ですが、7 月末までに十分なワクチン接種ができないという見通しの原因としては、打ち手が足りないということか、福井市に来るワクチンの数がはっきりしないということか。

福井市長：今はワクチンの数が福井市にあふれるようにあるというわけではないので、来る数に合わせてしか接種できなず、それも大きな課題である。また、仮にこれから先、多くのワクチンが来るようになったとしても、そのワクチンを打つ場所、打つ人を確保しなければならないという課題がある。

日経新聞：別の質問になるが、福いいネ！について、昨年キャッチコピーとして発表された時は、首都圏向けの PR をしていきたいというような話だったが、今年度から、活動自体は来年度からしていくということで、コロナのこともあると思うが、遅れたことについてどう思っているのか。

福井市長：コロナというよりも、北陸新幹線開業が１年遅れてしまったということだと思う。

日経新聞：それで全体として１年後ろ倒しになったということか。

福井市長：後ろ倒しにもできないので、悩みながらも福井の PR を一生懸命やっていかなければならないということだと思う。

日経新聞：今日の発表では、主に県内市内の認知度を図っていくということだったと思うが。

福井市長：福井市で十分理解をしてもらわないことには、全国に向けて PR するというのも難しいと思うので、まずは市内、県内で広めていかなければならないと思っている。

日経新聞：3年後には新幹線が来る中で、長期的な見通しとして、どのくらいで外に向けて発信したいと考えているか。

福井市長：あまりにも長時間かけて PR していると、伸びきったゴムのようになってしまうので、そういうことのないように2年間かけて PR するのがいいのではないかなと思い、活動をし始めた。しかし、活動し始めたときに１年延びてしまったので、この１年間をどのようにやろうと考えていたところで、まずは福井市で十分に理解していただくのがいいのではないかと思った。

日経新聞：ありがとうございます。

毎日新聞：毎日新聞の横見です。福いいネ！くんに関して、今回はプロモーション特命係長に任命されたが、改めてどのような仕事をしてほしいかという期待感を聞きたいのと、福いいネ！くん、先ほども登場したが、実際に見ると可愛いのかキモキャラなのか、どのように見たらいいのか考えていたが、市長としてはどのような印象を持っているか。

福井市長：人の形をしているのとは違って、ロゴの親指マークをマスコットにしたので、違和感を覚える方もいるかもしれない。ただ、インパクトのあるものの方が理解をしていただくにはいいと思っている。してほしい仕事としてはやはり、福井の魅力を広く発信するということなので、インパクトを持って PR していただきたいと思っている。

毎日新聞：市長から見たチャームポイントや、こういうところを市民から愛されるキャラになってほしい、という思いがあれば教えていただきたい。

福井市長：朝倉ゆめまるにしても、この頃のキャラクターは動きがよくなっているので、そういう意味では素早い動きをフルに活用してもらって、福井のいいところの知識を磨いてもらって、発信していただくということに期待をしている。

毎日新聞：ありがとうございます。

広報課長： それでは、以上をもちまして市長記者会見を終了します。